

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	068	道路等の整備		
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主担当部課名
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備	
めざす姿	市民生活と地域経済活動の向上に大きく寄与する道路交通を実現するため、市内における都市の骨格となる都市計画道路、幹線道路網などが、バリアフリーに基づき整備され、歩行者空間のユニバーサルデザインを推進し、全ての人が安全で安心な公共施設への移動が確保されています。また、車の走行による騒音、振動を低減する環境に配慮した舗装を採用することにより、市民が快適に暮らせます。			

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	497,626,000	514,141,000	559,333,000	1,062,129,000	1,398,687,000	
国庫支出金	0	30,000,000	55,000,000	245,640,000	284,480,000	
都支出金	110,600,000	51,900,000	66,905,000	213,810,000	290,475,000	
市債	32,000,000	28,000,000	0	93,000,000	315,700,000	
その他	1,160,000	500,000	5,865,000	465,000	67,570,000	
一般財源	353,866,000	403,741,000	431,563,000	509,214,000	440,462,000	
予算現額	546,326,000	557,513,000	636,575,000	920,863,000	0	
決算額	510,480,862	504,119,037	603,677,538	885,120,034	0	
国庫支出金	0	30,000,000	56,897,000	245,999,000	0	
都支出金	109,422,000	52,661,000	76,659,200	164,759,000	0	
市債	17,000,000	24,000,000	0	65,000,000	0	
その他	320,821	0	2,775,400	159,557	0	
一般財源	383,738,041	397,458,037	467,345,938	409,202,477	0	
執行率	93.4	90.4	94.8	96.1	0.0	
(人件費)						
職員数	19.21	18.65	17.45	15.91	0.00	
職員人件費	153,552,448	142,025,814	135,957,190	124,002,439	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	3,217,657	0	
(間接経費)						
間接経費	1,639,283	554,317	388,306	4,385,915	0	
総コスト	665,672,593	646,699,168	740,023,034	1,016,726,045	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
都市計画道路の事業進捗率	87.4	実績	87.4	88	88	-	91.3
	%	達成率	95.7	96.4	96.4	0.0	
市内の狭あい道路の割合	10.4	実績	9.7	9.5	9.4	-	8.3
	%	達成率	85.6	87.4	88.3	-	
騒音や振動の防止に対する評価	19.4	実績	18.6	17.3	17.4	-	17.2
	%	達成率	92.5	99.4	98.9	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

都市計画道路の事業進捗率について数値は変化していないが、現在事業中の箇所もあり完成に向けて取り組んでいる。
狭あい道路の割合は平成27年度と比較して0.1ポイント減少している。
騒音・振動については、市内道路の舗装打替を順次行ってきており、不満を感じている人の割合が平成27年度と比較してほぼ横ばいである。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	市内の狭あい道路の割合が減ってきている。道路改良工事を実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めた。道路事業を行うための準備、交渉を行った。	道路改良工事を実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めた。新設の都市計画道路事業の認可取得に向けた事務を行った。	道路改良工事、都市計画道路整備を実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めた。	
達成できていない点				

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

平成28年度は交通の円滑化と安全性向上のため、都市計画道路3・4・16号の一期区間の電線共同溝整備を実施するとともに、都市計画道路3・4・16号の二期区間及び3・4・11号の事業認可を取得した。また、生活道路の改良工事として、府中駅前通り外4路線の整備と桜通り外2路線の改修を、みちづくりバリアフリー化工事として競馬場正門通りの整備を、電線類地中化事業として、東京オリンピック・パラリンピックに向けた朝日町通り外3路線の電線共同溝整備を、けやき並木周辺整備事業として、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業に伴うけやき並木通りの整備を、それぞれ行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

都市計画道路整備は、財政状況に応じ計画的に事業を推進していく必要がある。美術館通りは一部未整備区間の早期完成が求められている。都市計画道路3・4・16号の二期区間及び3・4・11号は早期整備に向け事業用地の取得を進める。

今後の展開

道路整備については、美術館通りの完成と、都市計画道路3・4・16号の一期区間、二期区間及び3・4・11号の早期整備を目指す。狭あい道路拡幅整備については、執行可能な財政計画のもと計画的に進めていく。また、狭あい道路の早期解消に向けた新たな施策を検討する。既存道路の改良整備、みちづくりバリアフリー化整備及び電線類地中化整備は、計画的に取り組んでいく。桜通り等改修計画に基づき桜の植替えと歩道の段差解消を進める。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
道路新設・拡幅改修整備事業	府3・4・11号：用地測量、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、実施設計、物件補償、府3・4・16号（二期区間）：現況測量、多摩川通り：河川管理者協議、市道2-123号：用地取得ほか、道路交通の円滑化と安全性向上のため、市道の整備を実施します。	府3・4・11号：事業認可申請、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、物件補償、府3・4・16号（二期区間）：用地測量、事業認可申請、多摩川通り：河川管理者協議、警察協議、境界確認、市道2-123号：用地取得、詳細設計ほか、市道の整備を実施します。	府3・4・11号：物件補償、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、府3・4・16号（二期区間）：物件補償、多摩川通り：基本設計、河川管理者協議、警察協議、市道2-123号：整備工事ほか、道路交通の円滑化と安全性向上のため、市道の整備を実施します。	府3・4・11号：用地取得、基本設計、物件補償、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、基本設計、物件補償、多摩川通り：用地取得、実施設計、市道2-127号：用地取得ほか、市道の整備を実施します。	
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	
	所管部署	都市整備部 土木課	府3・4・16号（一期区間）において、埋設管撤去工事と警察協議を行った。 府3・4・11号と府3・4・16号（二期区間）において、都市計画道路事業の認可取得に向けた事務を行った。	府3・4・11号及び府3・4・16号（二期区間）：事業認可及び用地取得、府3・4・16号（一期区間）：電線共同溝整備、多摩川通り：基本設計及び河川管理者協議等を行った。	
	事業種別	主要な事務事業			
	4か年事業費計(単位:千円)	676,508			
狭あい道路解消事業	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記、寄附を受けた後退用地の奨励金の支払・後退用地へのL型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記、寄附を受けた後退用地の奨励金の支払・後退用地へのL型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記・後退用地へのL型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記・後退用地へのL型側溝整備	
	【進捗状況】 遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】 遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】 遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】	
	所管部署	都市整備部 建築指導課	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げているが、このままでは、目標達成するのは難しい。	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げているが、このままでは、目標達成するのは難しい。	
	事業種別	主要な事務事業			
	4か年事業費計(単位:千円)	555,840			
既設道路改良整備事業	府中駅前通り：詳細設計 桜通り外2路線：改修計画策定 ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	府中駅前通り：関係機関調整、桜通り外2路線：桜の健全性調査、道路改修、朝日町通り、多磨駅前通り、市道1-306号、市道1-307号：測量、基本設計、詳細設計、試掘ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	府中駅前通り：整備工事 桜通り外2路線：桜の健全性調査、道路改修、朝日町通り、多磨駅前通り、市道1-306号、市道1-307号：支障移設工事ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	府中駅前通り：整備工事 桜通り外2路線：道路改修 市道1-306号、市道1-307号：引込管・連携管設置工事、道路復旧工事、朝日町通り：電線共同溝工事、引込管設置工事ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	
	所管部署	都市整備部 土木課	桜通り外2路線で樹木健全性調査を、芝間通りと府中駅前通りで設計を、市道4-146号で測量と埋蔵文化財発掘調査をそれぞれ委託により行った。 中央道側道、九中通り、押立通り、桜通り外2路線で改良工事を行った。	府中駅前通り外4路線：改良工事、桜通り外2路線：桜の健全性調査及び改修工事、朝日町通り外3路線：電線共同溝整備、けやき並木通り：改良工事、競馬場正門通り：バリアフリー化整備工事等を行った。	
	事業種別	主要な事務事業			
	4か年事業費計(単位:千円)	457,040			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 バリアフリー化推進事業	30		73,900,000	67,001,040	5,500,000	誰もが安全で快適に利用できるよう道路のバリアフリー化を行う	B	1
2 桜通り改修事業	30		0	0	0	桜通り等のバリアフリー化を考慮した再整備	B	1
3 道路関係広域連携事業	30		257,000	256,900	262,000	道路整備の推進	B	1
4 道路新設・拡幅改修整備事業	30		70,331,000	58,187,190	241,737,000	道路の新設整備及び拡幅改修を行う	B	1
5 狭あい道路解消事業	30		212,400,000	194,485,905	187,500,000	建築基準法第42条第2項に指定された道路等において後退した部分の敷地を道路用地として寄附を	A	
6 負担金 多摩川整備促進協議会	30		15,000	15,000	15,000	多摩川の整備促進運動を推進し治水・水害防止・流域住民の安全と産業経済の発展に寄与する。	B	1
7 既設道路改良整備事業	30		683,436,000	546,478,335	946,473,000	道路の改良	B	1
8 用排水路整備事業	30		17,140,000	17,100,091	17,200,000	用排水路の整備	B	1
9 私道整備事業	30		4,650,000	1,595,573	0	私道整備事業	B	1
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,062,129,000	885,120,034	1,398,687,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	069	道路等の適正な維持管理				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主担当部課名	都市整備部 管理課
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備			
めざす姿	道路や橋梁が適切に維持管理され、安全で快適に通行することができています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	390,502,000	450,417,000	549,202,000	607,814,000	611,111,000	
国庫支出金	0	11,825,000	5,500,000	31,109,000	2,827,000	
都支出金	3,300,000	3,000,000	3,510,000	3,600,000	3,375,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	387,202,000	435,592,000	540,192,000	573,105,000	604,909,000	
予算現額	398,022,000	488,390,000	607,161,000	618,316,000	0	
決算額	387,444,077	478,063,665	593,192,653	589,652,088	0	
国庫支出金	0	10,670,000	27,165,000	31,108,000	0	
都支出金	3,150,000	3,000,000	11,740,000	9,465,000	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	384,294,077	464,393,665	554,287,653	549,079,088	0	
執行率	97.3	97.9	97.7	95.4	0.0	
(人件費)						
職員数	19.58	22.32	21.48	22.36	0.00	
職員人件費	156,488,721	169,939,012	167,329,929	174,264,083	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	8,500,815	12,073,267	7,035,143	11,623,145	0	
総コスト	552,433,613	660,075,944	767,557,725	775,539,316	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
道路の適正な維持管理	14.3	実績	12.3	14.3	16	-	10
	%	達成率	123.0	143.0	160.0	0.0	
街路樹の適正な維持管理	84.4	実績	86.1	86.5	86.2	-	90
	%	達成率	95.7	96.1	95.8	0.0	
道路台帳等維持管理事業	100	実績	100	100	100	-	100
	%	達成率	100.0	100.0	100.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

安全で快適な道路の維持管理をしていくためには、事業を継続していく必要がある。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	
達成できている点	道路施設の適正な維持管理を行った。 道路台帳については、認定、区域変更、廃止の箇所について更新を行った。 新しい道路の管理手法である包括的道路維持管理業務の委託を実施している。	道路施設の適正な維持管理を行った。 幹線道路の空洞対策を行い、橋梁点検を進めた。 道路台帳については、認定、区域変更、廃止の箇所について更新を行った。 インフラマネジメント計画については、施策の1つである包括管理委託を行った。	道路施設の適切な維持管理を行った。 道路台帳については、認定、区域変更、廃止の箇所について更新を行った。 インフラマネジメント計画については、施策の1つである包括管理委託を行った。 跨線橋の点検を行った。	
達成できていない点	橋梁等の大型構造物の点検が進んでいない。	大型の道路構造物の点検が進んでいない。	橋梁以外の大型道路構造物の点検が進んでいない。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
道路台帳については、道路法に基づき、認定、区域変更及び廃止により市道が変化した箇所について道路台帳平面図及び道路台帳調書の更新を行った。 地籍調査については、国土調査法に基づき、官民境界等先行調査により平成28年度までに0.30 km ² 行った。法定外公共物の維持管理では、除草、防草シート設置及び管理柵の設置などを行った。 予防保全の管理を進めるため、平成26年度から平成27年度にかけて、幹線市道61路線（車道部）約88kmの路面下空洞調査を実施し、69箇所の空洞対策を行った。また、平成27、28年度で35橋の橋梁点検を行った。 道路の舗装、街灯、カーブミラー、街路樹、防護柵等の適切な維持管理を行った。 インフラマネジメント計画については、平成26年度から府中まちなかきららや道路等包括管理委託などを開始した。また、平成28年度は今後の道路等包括管理事業の地域拡大や業務体系について、周知及び理解を得るよう市内事業者向けに説明会を行った。公共施設とインフラを総合的かつ計画的に管理する公共施設等総合管理計画を策定した。道路の路面の状態を知るために路面性状調査を行った。街路樹についての今後の管理方針を策定した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるために、点検・調査により、施設現状の把握を行い、中長期的な視点から修繕等の計画を立て、マネジメントする必要がある。 道路等包括管理事業については、市内事業者が参入しやすい仕組みづくりが必要である。 道路占用料については、多摩地域の市部全域における都道の占用料を参考に設定されているが、本市の実情に合った占用料に設定するなど、受益者負担の適正化を図っていく必要がある。
今後の展開
橋梁等の点検を進め、中長期的な修繕や更新の計画を策定し、適切な管理運営費用を算出するなど、維持管理費の削減と安全・安心な施設管理を目指す。 道路占用料について、本市の土地評価や占用物件の実態に合わせた見直しを行う。 各施策を推進するとともに道路等包括管理事業については、現在は試行的にけやき並木通り周辺地区に限定しているが、今後は事業の有効性を確認するとともに評価し、将来的には市全域への拡大に向け推進していく。 道路ストック総点検などの施設の維持管理における国の考え方の変化や、日々多様な要因で劣化する施設の状況の変化などを的確に捉えて反映するためにインフラマネジメント計画の改定を行う。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道路等維持管理事業	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・路面下空洞調査	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・車道橋・歩道橋の点検（跨道橋）	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・車道橋・歩道橋の点検（跨線橋）	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・車道橋の長寿命化計画策定 ・街路灯点検
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 管理課				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
120,000				
【進捗状況】		【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
【進捗状況】		【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 地籍調査事業	30		5,247,000	4,351,000	4,861,000	国土調査法に基づく土地の所有者・面積・地目・地番の調査及び土地の境界と面積を測量する。	B	3
2 道路等維持管理事業	10		557,293,000	543,482,831	579,567,000	道路等の維持管理	A	
3 法定外公共物管理事業	30		21,480,000	20,855,457	11,870,000	法定外公共物の維持管理	B	1
4 インフラマネジメント計画推進事業	30		22,794,000	20,962,800	13,813,000	新たなインフラ管理の方針として定めた「インフラマネジメント計画」を着実に推進していく事業で	A	
5 緊急整備工事業	30		1,000,000	0	1,000,000	緊急整備工事	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			607,814,000	589,652,088	611,111,000			

施策評価シート

記載年月	平成29年9月
対象年度	平成28年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	070	下水道施設の機能確保			
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			担当部署
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備		
めざす姿	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策・地震対策等が計画的に行われ、市民の快適な生活環境が確保されています。				

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	2,730,751,000	2,932,495,000	2,931,877,000	2,786,212,000	2,954,562,000	
国庫支出金	134,090,000	76,750,000	16,750,000	17,000,000	0	
都支出金	6,704,000	3,837,000	837,000	850,000	0	
市債	209,200,000	284,000,000	290,000,000	329,000,000	355,000,000	
その他	1,694,673,000	1,777,286,000	1,846,162,000	1,786,555,000	1,814,095,000	
一般財源	686,084,000	790,622,000	778,128,000	652,807,000	785,467,000	
予算現額	2,645,078,000	2,890,768,000	2,801,980,000	2,734,899,000	0	
決算額	2,444,253,475	2,457,864,712	2,322,997,967	2,257,869,673	0	
国庫支出金	84,680,000	48,000,000	0	8,500,000	0	
都支出金	4,234,000	1,310,000	0	425,000	0	
市債	192,300,000	206,100,000	179,200,000	183,900,000	0	
その他	1,587,276,647	1,631,790,656	1,631,209,950	1,650,714,691	0	
一般財源	575,762,828	570,664,056	512,588,017	414,329,982	0	
執行率	92.4	85.0	82.9	82.6	0.0	
(人件費)						
職員数	14.90	14.99	14.98	15.98	0.00	
職員人件費	119,086,283	114,130,187	116,712,820	124,524,198	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	7,354,470	13,498,682	4,830,266	4,772,408	0	
総コスト	2,570,694,228	2,585,493,581	2,444,541,053	2,387,166,279	0	

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
老朽化対策工事の管きよの延長	6.2	実績	6.4	6.6	6.8	-	10
	km	達成率	64.0	66.0	68.0	0.0	
地震対策工事のか所数	7	実績	223	272	470	-	730
	か所	達成率	30.5	37.3	64.4	0.0	
雨水浸透ますの設置個数	47,900	実績	54,226	58,985	63,085	-	59,900
	個	達成率	90.5	98.5	105.3	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

老朽化対策工事の管きよの延長については、目標に向けて努力していく。
 地震対策工事については、現地調査による施工不能箇所の発覚や工事入札おける不調により、実績値がやや少なくなっているが、来年度以降着実に積み上げていく。
 雨水浸透ますについては、市民への周知が実績値を押し上げている。

4 施策の進捗状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進捗状況	目標達成に向け順調に進捗している	目標達成に向け順調に進捗している	目標達成に向け順調に進捗している	
達成できている点	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策としての管更正工事も計画的に行われている。雨水浸透施設の設置について周知されている。	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策としての管更正工事も計画的に行われている。雨水浸透施設の設置について周知されている。	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策としての管更正工事も計画的に行われている。雨水浸透施設の設置について周知されている。	
達成できていない点	地震対策工事については、予定施工箇所における事前調査により、施工不能箇所が発覚し、達成率を下回っている。	地震対策工事については、予定施工箇所における事前調査により、施工不能箇所が発覚したことや、入札不調により達成率を下回っている。	老朽化対策工事及び地震対策工事については、予定施工箇所における事前調査により、施工不能箇所が発覚したことや、入札不調により達成率を下回っている。	

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

下水道管の調査・清掃は、平成19年度から5年間で市内全域を行った。この調査をもとに汚泥深調査を平成24年度から3年間行い、調査結果を受け清掃作業を行っている。平成28年度は、下水道管きよの目視調査を4,349.8m、テレビ調査を約6.7km行った。損傷箇所などの補修工事を130か所実施したほか、管更正工事を127.5m実施した。
総合地震対策計画に基づき、人孔継手部可とう化工を179か所施工した。
ポンプ場施設の維持管理についても年間委託し、安定した運転管理に努めた。
以上の取組により、下水道施設の機能は確保されている。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

今後は、平成23年度に策定した下水道マスタープランに掲げる個別の施策の確実な実施と、事業に対応する財源の確保及び事業を実施するための管理体制の確保が課題である。
また、総務省から示された下水道事業の公営企業会計化に向けての準備が必要である。

今後の展開

下水道マスタープランに基づき、引き続き、下水道施設の長寿命化対策及び地震対策事業を確実に進めていく。
また、総務省の要請に従い、下水道事業の平成32年4月からの公営企業会計の適用に向けて、準備を行っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
下水道運営管理事業	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 下水道課				
事業種別				
主要な事務事業	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務を実施し、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導を行った。			
4か年事業費計(単位:千円)				
	7,760,000			
下水道維持管理事業	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きよ継手部の可とう化工事を実施します。	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きよ継手部の可とう化工事を実施します。	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きよ継手部の可とう化工事を実施します。	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きよ継手部の可とう化工事を実施します。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 下水道課				
事業種別				
主要な事務事業	計画的に下水道管きよの維持管理を行い、マンホールの浮上防止・マンホールと管きよ継手部の可とう化工事を実施した。			
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,961,000			
下水道新設改良事業	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 下水道課				
事業種別				
主要な事務事業	既設老朽管の更正工事を実施した。			
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,829,000			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H28年度		H29年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 下水道運営管理事業	10		1,928,747,000	1,716,766,267	1,941,228,000	下水道事業の管理運営に必要な事務事業	B	1
2 下水道維持管理事業	10		523,432,000	339,331,214	463,968,000	既設下水道施設の維持管理事業	B	1
3 下水道新設改良事業	10		334,033,000	201,772,192	549,366,000	下水道施設の新設に関わる事業	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			2,786,212,000	2,257,869,673	2,954,562,000			